

## 平成 29 年度調査研究発表会の開催報告

一般社団法人新都市ハウジング協会では、この一年間の調査研究や実験等の成果を会員等の皆様に報告すると共に、ご意見をお伺いするために「調査研究発表会」を毎年開催しております。

内容は CFT 構造賞表彰選考委員会・CFT 造普及委員会・都市居住研究委員会・長寿命建築システム普及推進委員会における調査研究の成果報告に加えて、

国土交通省住宅局 建築環境企画室 室長 山下 英和様 「住宅・建築物の省エネルギー対策をめぐる状況について」  
東京大学名誉教授 坂本 雄三様 「建築研究と社会の反応」

と題しました記念特別講演を行いました。

また、発表会終了後は会場を移して交流会が開催され、発表会での発表内容や日頃の調査研究活動を振り返りながら、和やかに歓談されました。

なお、参加者は、発表会 143 名、交流会 34 名でした(協会事務局 11 名を含む)。

- ・日 時 : 平成 29 年 7 月 7 日(金) 13:00~17:45
- ・場 所 : 大成建設株式会社 大会議室 (交流会 : 6 階カフェテリア 18:00~19:00)

### ■プログラム

- 1.開会の挨拶 新都市ハウジング協会専務理 事白井 清広
- 2.特別講演(1) 「住宅・建築物の省エネルギー対策をめぐる状況について」  
国土交通省住宅局建築環境企画室 室長 山下 英和様
- 3.表彰選考委員会の報告 「2017CFT 構造賞」 表彰選考委員会委員長 是永 健好(大成建設株式会社)
- 4.CFT 造普及委員会の報告 「長周期地震動に対する CFT 造超高層建物の安全性検証法の確立に向けて」  
CFT 造普及委員会 山崎 賢二(株式会社竹中工務店)
- 5.都市居住研究委員会の活動成果報告  
「集合住宅版 ZEH の研究結果報告」 エネルギーシステム研究会主査 二宮 誠英(東京ガス株式会社)  
「ユニバーサルデザインの視点から考える超高層マンション避難に関する調査研究」  
ユニバーサルデザイン分科会主査 吉野 攝津子(株式会社大林組)
- 6.長寿命建築システム普及推進委員会の活動成果報告
  - 6.1 平成 28 年度活動報告 長寿命建築システム普及推進委員会委員長 是永 健好(大成建設株式会社)
  - 6.2 建築基礎 WG の活動成果報告  
「全体計画及び杭の実験計画」 建築基礎 WG 主査 成原 弘之(大成建設株式会社)  
「動的相互作用を考慮した地震応答評価」 建築基礎 WG 濱田 純次(株式会社竹中工務店)  
「傾斜支持地盤立地建物の地震応答評価」 建築基礎 WG 小島 宏章(株式会社大林組)
  - 6.3 住棟インフラ WG の活動成果報告  
「住棟インフラ整備に関する検討」 住棟インフラ WG 主査 川崎 直宏(市浦ハウジング&プランニング)
  - 6.4 技術インフラ WG の活動成果報告  
「コンパクト・プラス・ネットワークに対応した集合住宅等整備モデルのスタディ」  
技術インフラ WG 近角 真一(集工舎建築都市デザイン研究所)  
「コンパクト・プラス・ネットワークに対応した次世代分散型エネルギーインフラシステムの検討」  
技術インフラ WG 主査 山崎 雄介(芝浦工業大学客員教授)
- 7.特別講演(2) 「建築研究と社会の反応」 東京大学名誉教授 坂本 雄三様
- 8.閉会の挨拶 新都市ハウジング協会常務理事 西川 広一